安全パトロール

鳴子ダム流量観測・採水運搬業務
（東北地方整備局　鳴子ダム管理所）

弊社では現場作業時の安全対策を強化するため、現場担当ではない女性社員による安全パトロールを実施しております。
日ごろ現場経験のない第三者目線で点検することで、見落としがちな危険箇所を見つけることを目的としております。

安全パトロール実施状況

開始前ミーティング

各現場を確認

パトロール結果報告

安全面における良い点または改善点を確認し、担当者に作業する上で安全面において工夫していることや、作業時に危険性を感じることがないか聞き取りを行いながら、パトロールを実施した。

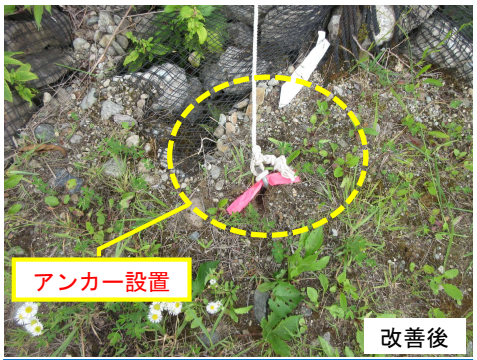
パトロール結果を担当者へ報告を行う。担当者全員で意見交換を行い改善案を検討した。

危険だと指摘された箇所の安全強化を図るため、担当者全員で意見を出し合い検討を行いました。
検討結果を基に改善を実施し、改めて安全意識を持つことの重要性に気付くことができ、担当者の安全意識向上につながりました。

パトロール改善結果

轟観測所

川へ降りる際に使用する昇降用ロープが劣化していた。固定先も不安定であった。



昇降用ロープを新しいものへ交換した。
アンカーを設置し、頑丈に固定した。

末沢観測所

川へ降りるところの斜面が滑りやすく、急斜面であるため、転倒の危険性が高い。

昇降用ロープを設置することにより、安全に昇り降りできるようになった。

船着場

船へ向かうまでの斜面が急であり、転倒のおそれがある。草が繁茂し足元の見通しが悪い。

除草作業を実施し、歩きやすくなった。
夏場はすぐに草が繁茂してしまうため、今後も定期的な除草作業を行う。

大谷観測所

水管橋を越える際に転倒の危険性がある。特に雨天時は滑りやすいため対策が必要。

廃材を利用し簡易階段を設置することで、安全に越えることができるようになった。

今回現場をパトロールしたことで、ロープを設置するなど安全に作業をするための様々な工夫をしていることがわかりました。特に真夏は除草作業など過酷な作業となりますが、これからも「安心・安全」な現場作業を行うために取り組んで参ります。